

ごあいさつ

2013年2月16日

京都・市民放射能測定所

代表 奥森祥陽

福島原発事故による放射能汚染は広範囲に広がり、私たちは放射能と向き合って生きていくことを余儀なくされています。政府が定める「基準値」以下の汚染食品が全国に流通し、大人も子どもも内部被曝を強いられています。

こうした状況の中、私たちは、市民自らが放射能を測定し、放射線防護の知識を身につけ、正しく判断していくための「ツール」となる京都・市民放射能測定所を昨年5月19日に立ち上げ、ちょうど1年がたちました。

今日まで約600検体の測定を実施してきました。京都府内産の農産品や畜産品からは放射性セシウムを検出することはありませんが、流通している加工食品等からは検出することがあり、市民による監視の重要性をあらためて感じております。

今、全国で多くの市民測定所が活動しており、関西でも京都に続いて奈良市、西宮市で開設されました。市民による放射能測定の全国的な取り組みは「すべての食品の放射能測定と公表（表示）」という大きな目標を実現する力になります。

本年2月から、プレマ株式会社様が所有している放射能測定器「AT1320A」と測定ルームを、市民向けの測定に使用させていただくことになり、「四条烏丸測定室」がスタートしました。プレマ株式会社中川社長様をはじめ、関係者のみなさまに心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

当所は、240名の会員と20名余りのボランティアスタッフの献身的な活動に支えられて、1年間運営してきましたが、決して順風満帆といえる状況ではありません。多くの会員に支えられているとはいえ、依頼測定は思うように伸びず、財政的には厳しい運営に余儀なくされています。

私たちは、開設から1年間の取り組みの成果と踏まえ、測定所会員の更なる拡大とともに、会員の測定利用の拡大を働きかけていきたいと考えています。また、保育所の給食食材の依頼測定をさらに広げるとともに、農業生産者や飲食店経営者のみなさまに当所を利用していただけるとともに、積極的に営業活動も行っていきたいと考えております。

関西では、京都に続いて奈良市、西宮市に測定所が開所しました。三重県名張市や神戸市西区にも測定所が開所しています。また、中国地方には岡山県、広島県に測定（依頼）所が設立されています。

当所はこれまで、CRMS 福島やこどもみらい測定所、測定所全国ネットなどと連携を持ち、測定技術を学びながら、関西初の測定所の運営を行ってきました。現在、上記のように関西、西日本に多くの測定所開設されているので、関西、西日本の測定所ネットワークをつくり、連携を強めていきたいと考えます。

これからも、京都市民放射能測定所をどうぞよろしく願いいたします。